

令和4年度 広島市防災士フォローアップ研修(東区開催)

日時：2月4日(土) 10～12時 東区総合福祉センター

対象：東区の防災士(約150名) 参加者：約50名

内容：事例発表と意見交換(約10名ずつの5グループ)

<事例発表>

1. 福田地区(越智)…被災体験を教訓にした**防災体制づくり**に向けた取り組み例

防災士会立ち上げの経緯と活動内容

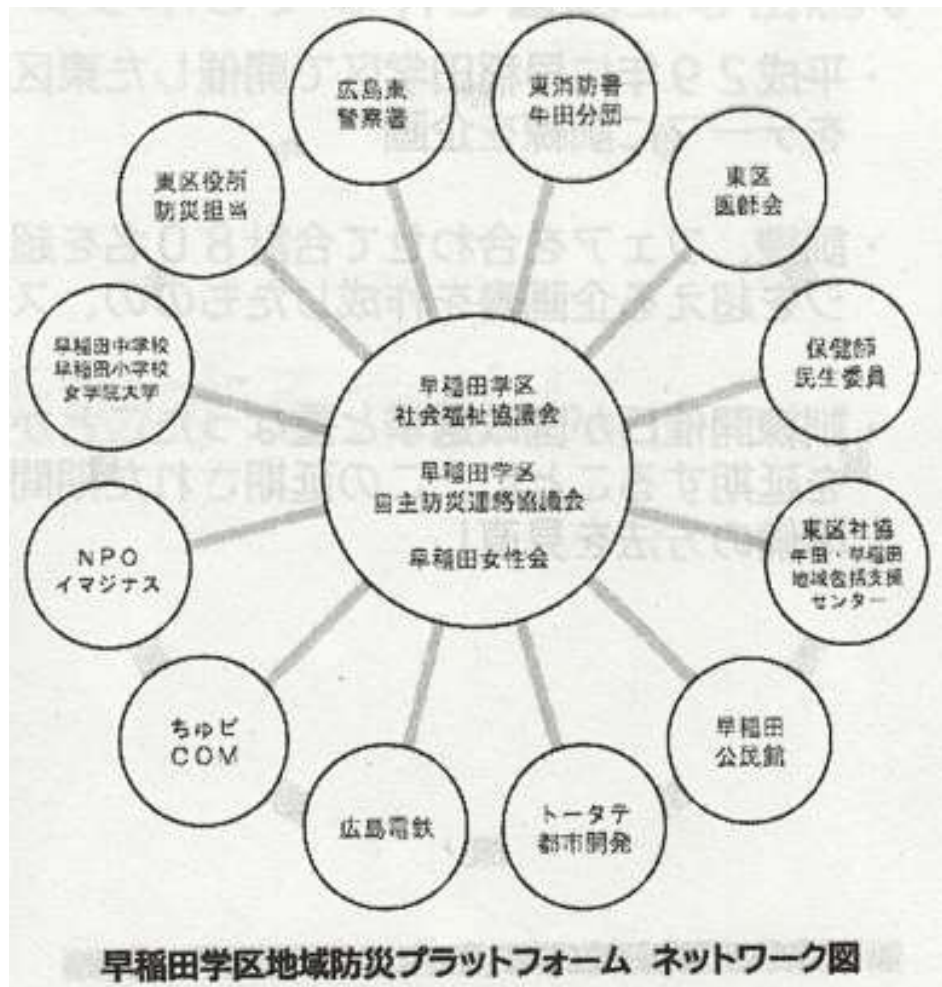
防災士会の構成、経緯と活動内容(座学と実地見学、技能実習など)、

留意点(無理はしない、和気あいあい…防災士間の**気持ちの連携づくり**)

2. 牛田早稲田地区(川島)…「防災」を中心にしたまちづくりの取り組み

早稲田学区まちづくり(H28年度に第3次まちづくりプラン)に防災を最優先の課題と位置付けて取り組みを行ってきたこの7年間のあゆみと教訓の紹介。

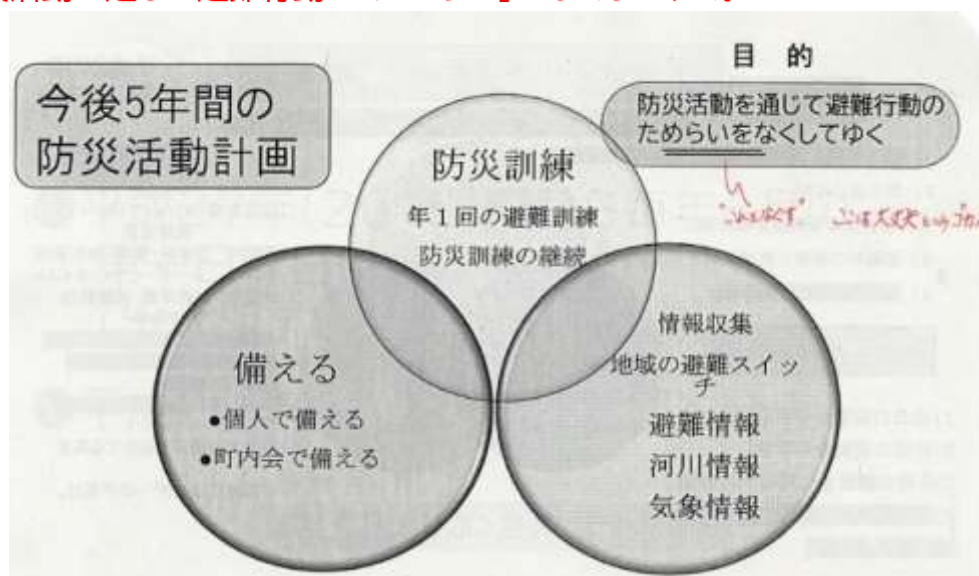
- ・「BOSAI カフェ」…地域住民の思いや意見を自主防災に活かす
 - ・西日本豪雨災害で判明した課題を活かす取り組み⇒**「わせだ防災プラン」**の作成
(R元年からR4年まで6回の委員会)
 - ・避難行動計画：**避難が必要な方の確実な避難計画(分散避難と並行)**
(「わせだマイタイムライン」：牛田早稲田独自のマイタイムラインの作成)
 - ・早稲田中学校の防災学習プログラム(各学年ごと)の作成
 - ・早稲田学区地域防災プラットフォーム…「顔の見えるネットワーク」づくり
- * 教訓：人と人のネットワークで活動の質が大きく変わる(企画書と調整役づくり)



3. 温品地区（木村）…実際の被災体験と避難所運営に基づいた実践マニュアルの一例

2014年の広島豪雨災害を契機に思い立って活動開始。

***防災活動を通じて避難行動の「ためらい」をなくしてゆく。**



上記3課題の具体的内容も報告された

*「命の袋」づくり など



【福田地区防災士会の取り組み事例の発表】

東区の防災士は現在約150名。今回はその防災士間の情報交換と技能向上をはかることを目的として実施されました。福田地区防災士会の研修会として位置づけて臨みました。

他地区の取り組みに大いに刺激を受け、今後の活動の方向性などに大きな示唆が得られました。今後の福田地区の防災体制づくりに大きなヒントを得た研修会でした。